

現在市内の保育園にてロングパート保育士として勤務している

『 復職した先輩保育士からの声 』

「仕事も家庭も大切に」 *ロングパート保育士（36歳 保育経験11年）

ロングパート保育士として働く前は、仕事と家庭の両立への不安がありました。実際に働き始めると、家庭での生活は慌ただしくなりましたが、限られた時間を工夫して使うようになりました。私は夕飯作りを簡単に済ませ、子どもと遊ぶ時間を作るようにしています。上の子（年長児）は、毎日の出発時間と帰宅時間を前日に確認し、見通しを持って生活してくれるようになりました。職場では、子どもたちの成長をより身近に感じられるようになりました。初めてできるようになった瞬間の喜びを子どもや保護者の方と共有できた時に、やりがいを感じます。また、行事に関して話し合いの段階から参加できるようになったので、周りの先生方と相談しながら流れを理解して準備する事ができるようになりました。行事当日に子どもが満足感や達成感を感じる姿を見て、私も嬉しくなります。あっという間に毎日が過ぎていきますが、限られた時間を大切にしながら、仕事も家庭も楽しんでいきたいと思えます。



「生き生きと働くこと」 *ロングパート保育士（43歳 保育経験6年）

私はショートパート保育士として勤務6年目の8月からロングパート保育士になりました。きっかけは、産休に入る保育士がいた為でしたが、同世代の職員が同じ様に子育てをしながら働く姿に刺激を受けながらも、やはり43歳での職種変更には体力的な心配や家庭との両立が出来るかどうか、それからロングパートになる事で自分の業務、役割、責任について考えるとハードルが高いと感じ、なかなか決断出来ませんでした。

そんな時に、周りの先生方が不安でいっぱいだった私を温かく受け入れてくれて、とても励まされました。ロングパートとしてクラスに入り一人一人の子ども達に関わると、今までとは違う感覚で本当に子ども達が可愛く、笑顔に癒され励まされます。子ども達が一日の長い時間を保育園で過ごす中での何気ない小さな発見や成長もとても嬉しいです。保育園に求められるニーズが様々で、困難と感じる事はあっても、それ以上にやりがいを感じ、毎日充実しています。